

石材用エポキシ樹脂接着剤

サンユボンド**A-410**

サンユボンドA-410は、内壁向け石材用接着剤として開発されました。へら作業性、石材との接着性に優れています。

- 用途
 - 耐湿性、耐水性が要求される屋内壁面への石材への接着
 - 一般的な接着
 - 下地の不陸調整

- 特徴
 - 接着性: 石材との接着性が、優れています。
 - 収縮性: 無溶剤タイプで、肉痩せしません。
 - 作業性: パテ状で、へら作業性に優れています。
 - ダレ性: ダレが少なく団子張りが出来ます。

■ 性状

項目	A-410		測定方法
	主剤	硬化剤	
外 観	オレンジ色パテ状	緑色パテ状	目視
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン	
配合比(主/硬)	100/100		重量比
可使時間	60分		1kg/23℃
初期硬化時間	3時間		JIS A硬度計で80になる時間、23℃

■接着性

表面材	下地材	標準	熱劣化	アルカリ浸漬
大理石	モルタル	2.65MPa	3.0MPa	2.45MPa
	スレート	0.88MPa	0.88MPa	0.78MPa
	合板	1.18MPa	1.08MPa	----
御影石	モルタル	2.65MPa	2.65MPa	2.65MPa
	スレート	0.88MPa	0.78MPa	0.69MPa
	合板	1.18MPa	0.98MPa	----

※全て下地破壊

標準:23°C/7日 熱劣化:23°C/7日+60°C/7日

アルカリ浸漬:23°C/7日+23°C水酸化カルシウム飽和溶液/7日

■汚染性

放置条件	結果
80°C/95~100% 2ヶ月	汚染なし
60°C 2ヶ月	汚染なし

白大理石(140×70×10mm)に充分混合したA-410を厚み4mmになる様に白大理石に塗布し常温にて7日間硬化後、上記条件にて放置して白大理石の汚染をみる

■使用方法

- 下地処理:被着体の接着面のレイタンス、ゴミ油分は除去して下さい。
- 配合:主剤と硬化剤を1:1の重量割合で正確に計量して十分に攪拌混合して下さい混合、攪拌不良ですと硬化不良の原因になります。
- 可使時間:配合量は、可使時間内に使い切れる量で配合して下さい。雰囲気温度が高いほど、配合量が多いほど可使時間は短くなります。
- 養生:養生中は振動、水分等の影響を受けないようにして下さい。

■注意事項

- 作業場所は十分に換気し、保護具等を着用して下さい。
- 作業服、工具に付着した樹脂は速やかに除去して下さい。
- 体質によってはかぶれることがありますので、保護具等を着用し、皮膚に付着した場合には直ちに、石鹼水で洗い流して下さい。
- 皮膚障害、呼吸障害が見られるときは、必要に応じて医師に診察を受けて下さい。
- 使用後は容器の蓋を締めて冷暗所に保管して下さい。



本カタログの記載事項は弊社の試験設備による特定条件下で得られた測定値の代表例です。
 その他取扱いについては製品安全性データシート(MSDS)をご参照下さい。

平成13年4月 現在